

夢窓幼稚園通信第56号

2024年 1月 9日

新しい年の始まりに

先ずは 能登半島を中心とした大きな地震や飛行機事故により
貴い命を失った皆さまのご冥福をお祈りしたいと思います。
また被災の救命や復旧・復興の作業が進み 少しでも早い
安心安全な生活が営めることを願います。

そして 新年を迎えた 私たち誰もが 大きなおおきな時代の課題を
抱いながらも 夢をもってそれぞれの自分らしく過していける社会を
共につむいでいく勇気を持つことができたらと思っています。
今年も どうぞ よろしく願います。

この冬休みに行われた 修繕事業を紹介させていただきます。



トンネル周辺や さくらん・ゆやへ上がる階段に ゴムチップを塗り付ける
工事をしてもらい 安全の強化を図りました。



「なかよし保育」や ソフィアの会で使用する「あじい
の家」2Fと 保育室の畳を ようやく 取り替える
ことができました。



ちやちやぐみと 保健室
の分は 3学期中に
すみれば 来年度の
取り替えを 予定して
います。
新しい畳は とても
気持ちがいいです。



園庭南側の花壇やフェンスから
道路への落下や 乗り越えを
回避すべく フェンスの取り替えを
しました。
園庭坂下門の看板を含めた
上部を含め 修繕中で 間も
なく 取り付けられる予定です。



パワーコンディショナーの取り替えが行われ
むすおひさま発電所が再び動き出し
毎日電気が生まれています。
19年半故障せずに動き続けるのは
めったにないことだそうです。
ありがたいですね。

コロナ禍から時代状況が大きく変わったのはもちろんですが、20年
少し前に世紀がそして千年紀が変わり時代が大きく置き換え
していくことが予期されていたのが、今まさに様々なところで実感
できるようになりました。

物事の価値をお金に換算すること、便利であるということ、共同体への
憧れを逆手に取った政治や文化活動... 近代以降の私たちの意識の
最大の課題が「エコイズム」にあることを自らに知らされる毎日である
気がします。

年末に紹介させていただいた「愛の礎石」の後半は上下の通りです。

時代が変わるとき 宇宙の霊の光が地上の存在の流れに加わった。

夜の闇は その支配を終えた。

昼の光が 人間の魂の中で輝いた。

光、 光こそは ますしい牧者の心を暖める。

光、 光こそは 賢き王者の頭を明るくする。

神の光よ、キリストの太陽よ、

我々の心を暖めよ、我々の頭を明るくせよ。

我々が目標へ向かて 心の中から創り出し、

頭の中から導き出そうとするものが、

善なるものになりうるように。

3学期... 今年度のさまざまな事を仕上げやしめくり、そして積極的な
持ち越しと継続、並行して次の年度の準備は大忙しです。

この春大きな転換や移行、逆に言うなら私たちがこの場で展開すべき
大切なことを確かめ、やろうとしてやれなかったことに踏み出すチャンスに
向かう時となるかもしれません。



新たにフェンスを作ることで校を切ったことにより様は
容易に上がりやすくなってしまつところは 入形を置く
ことにしました。



子どもたちを 12ヶ月を人が人の
感覚を確かめることを見守る
“ゆめみまもり”は衆です!

園長 弁光 泰雄